

八丈島文化協会 会報 第9号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833

HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

2015年7月17日発行

第4回総会が開催されました！

八丈島文化協会第4回総会は、6月1日(月)に富士見地区公会堂で行われ、会員総数49名に対して、出席27名委任12名で盛況な総会成立となりました。

内山会長は、挨拶の冒頭で加入団体・個人、来賓が多く参加していることに感謝し、手狭で古い会場ではあるが、地域の文化施設なので島らしい地域づくりの第一歩が始まると考えるので、利用者と共に大切に使用しているのであえてこの会場での開催した意義を述べ、協会は地域の「文化活動の拠点づくり」を旗印にしたいという思いで一年間の活動計画を練って提案する。発展途上の協会に対して参加者の意見で議案が肉付けされて、行動の指針にしていくと決意を述べました。

来賓挨拶では、支庁総務課長、教育委員長、教育委員会課長、5名の議員、八丈島体育協会会長、観光協会副会長より、これまでの活動の成果への評価と八丈町の文化活動発展のために協会の役割に対する暖かい支援のことばと期待が寄せられました。

議事に入り、26年度の活動報告では、多目的ホールおじゃれに対する町への要望に回答された町の見解の説明があった。要望は、ホールの申し込み受付期間、技術スタッフのシステム、ホールに付随する場所の利用環境の改善、利用料免税について等でしたが、今後も加入団体の要望を聞いて使いやすいホールを目指して町との話し合いを続けてほしいとの期待が寄せられました。

会計報告では、町歌CD作製業務受託により決算額が大きく変わり、監査から今後の会計処理の仕方についての提案もされ、質疑では、補助金の返還についての問題が大きく取り上げられました。他に、慶弔規定の必要性、決算書の形式についても指摘がありました。



27年度の活動計画案検討では、会員主催事業や活動支援事業について協会の具体的な、援助内容が補足説明され、今年は特に、各団体の会員どうしが気軽に交流できる場を作ることに力を入れたいとの方針も提案され、交流の必要性から歓迎されました。予算案では、収入で初めて事務事業費としての補助金がつくこと、支出では公会堂利用料の変更予定などの補足説明がありました。

(次頁へ続く→)

審議では、収入の部でも委託事業を入れていく方向が望まれました。補助金返還金についての問題、事務事業費はほぼ人件費であるがその他の事業も入ったの補助であること、富士見地区公会堂の会計は町の委託事業であることから別会計として資料を配布したこと、前年度決算と今年度予算との比較がしやすい資料作りなどが取り上げられ、理事会での検討をされたいとの要望が出されました。

活発な論議を経て、昨年度の報告、今年度の活動計画、役員及び理事の改選が承認されました。

議事の最後に、27年度新規事業の文化合宿支援業務(別掲参照)について、教育課担当者から文化協会と委託契約したい旨の説明がされ、事業説明に対する質疑も行われました。

また、各団体(よりよい図書館づくりをすすめる会、檜会、劇団かぶつ、「筑後川」IN八丈島、芸能文化祭実行委員会)から、それぞれの取り組みへの理解、協力、参加などの宣伝もされ、和気あいあいとした中で閉会しました。

第1回団体代表者会議が行われました。

7月10日、富士見地区公会堂にて、団体代表者、理事あわせて14人が参加して、今年度第1回目の団体代表者会議(交流会)が行われました。協会や加盟団体が関わるイベントのお知らせを中心に情報交換を行い、少人数ながら有意義な集まりとなりました。当日話された話題を下記に記しますのでご確認ください。

<主な議題・話題>

☆印⇒詳細は別添資料(本紙とともに配布)をご確認ください

◎⇒詳細は本紙別ページ掲載記事をご確認ください。

◆⇒詳細はFAX・メール通信7月10日号をご確認ください

- ・26年度収支決算報告修正について☆
- ・「文化団体合宿サポート業務」についてのお願ひ☆
- ・八丈島芸能文化祭WS参加者、スタッフ等募集☆◎
- ・八丈島JAZZフェスティバル2015のお知らせ☆◎
- ・島民大学講座のお知らせ◎

- ・「筑後川IN八丈島」進行状況報告◎
- ・夏休み期間中の服部屋敷公演について◎
- ・文化フェスティバル実行委員募集◆
- ・月見交流会企画スタッフ募集◆
- ・その他

24時間チャレンジ八丈太鼓(10月)、
石投げ踊り大会(8月)についてなど

新会員紹介

新たに加盟された会員をご紹介します。(敬称略) - 6月1日総会時現在 -

<団体会員>

ピティナ八丈島Anettaiステーション(代表 土屋歌織)

中国語勉強会(代表 岸田栄美)

M-isle Ballet(代表 石井暢子)

<賛助会員>

ホテルリード・アズーロ、富次朗商店、沖重建設株式会社

大澤力、奥山弘喜、菊池孔介、菊池浄、笹本長利、松代香都子、森郁郎

コピー・ラミネートサービスのごあんない

モノクロ A4 1枚 10円～

カラー A4 " 40円～

ラミネートA4 " 40円～ から利用ができます。

月～金 9:30～12:00 富士見地区公会堂(文化協会) TEL・FAX 2-2833

会員のみなさまの活動に
是非お役立てください!

八丈島JAZZフェスティバル2015開催

3回目となる今年のJAZZフェスはおじゃれ運営委員会とともに文化協会が主催します。今回は過去2回のステージに出演した島の中高生たちが、「自分たちが得たものを後輩たちに伝えていきたい」「島の未来のためにこのイベントを続けていきたい」と企画段階から関わり、大人とともにこのフェスを作り上げてきました。子どもたちの思いが詰まったJAZZフェス、ぜひご来場ください。

八丈島JAZZフェスティバル2015

8月21日・22日 八丈町多目的ホール「おじゃれ」

21日(金) 18:30開演 ～子どもたちによる子どもたちのためのジャズフェス

出演:富士中吹奏楽部、三原中音楽部、島内小学生有志(公募)、八丈島社会人吹奏楽団
スペシャルゲスト:宮本大路(Sax,Fl,Cl)、岡崎好朗(Tp)、上杉優(Tb)

22日(土) 18:30開演 ～プロミュージシャンによるジャズライブ

宮本大路(Ss,As,Bs,Fl,Cl)、高橋ゲタ夫(B)、岡崎好朗(Tp)、
上杉優(Tb)、青柳誠(P)、藤井摂(Dr)



※入場料等、詳細は同封のチラシにてご確認ください。

第69回八丈島民大学講座内容決まる 首都大学東京の教授陣で、「半導体の可能性」と「民法改正」

「変動の激しい社会情勢の中で、己を失うことなく、悔いのない生涯を全うしたい……そのためには、広い範囲での学習に努め、その積み重ねによって、自己を深め、確立することが肝要である」と、1980年8月に開講した八丈島民大学講座が、第69回講座への参加を呼びかけています。

今回は、同実行委員会と首都大学東京との共催で、9月5・6日の2日間行われます。
(後援:八丈町教育委員会、八丈島文化協会/協賛:七島信用組合)

● 第1日目は9月5日(土) 午後7時30分～9時。

同大の奥村次徳教授(電気電子工学専攻)による「半導体の可能性—島の暮らしはどう変わる?」

太陽電池やLED照明など、エネルギーを節約する新しい半導体デバイス(電子部品)の高性能化と普及によって、これまで電力の供給が十分ではなかった地域でも、エレクトロニクスや情報通信技術(ICT)の恩恵が容易に受けられるようになってきました。身の周りにある半導体とその応用で島の暮らしはどう変わっていくのでしょうか。

● 第2日は9月6日(日) 午後1時30分～3時。

民法が専門の桶舎典哲(おけしゃふみあき)教授による「民法」改正と私たちの暮らし(仮題)

市民生活と密接に関係している民法は、制定から120年が経過。いま、どのような問題が生じているのか。特に、『約款・法定利息・時効・連帯保証・敷金・相続』などの改正で、私たちの暮らしはどのように変わるのか…。具体的なテーマに即して考えます。

会場は、七島信用組合八丈島支店2階ホール。

参加費は無料。 問い合わせ先は実行委員会事務局7-0461。

来る9月23日は第3回八丈島芸能文化祭です



～ わいらが残した島の芸能 ～

うれしいにつけ、悲しいにつけ集まっては太鼓で励ましあい、歌や踊りで心ひとつにする集いの中で生まれ発展し継がれてきた島の伝統芸能。古きよき時代を偲びながら、島言葉にのせて紹介します。

近年、島の伝統芸能を学ぶ為に訪れる若者や、伝統文化に魅せられ移住を考える者たちも現れ、中には、現代文化を伝えてくれる人たちもあり、島をとりまく文化芸能の渦は、古きから新しきへ、島から外、外から島へと、大きなうねりをみせ、人々に楽しさや感動、安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かなものとしています。また、未来を担う子供たちは、

島の伝統文化の上に、新しくもたらされた文化を融合しつつ発展させていく力を秘めています。

それら様々の想いを、観客と一体となる舞台構成で、八丈島の伝統芸能の素晴らしさを再確認する場となるような、また、島外ゲストに「モンゴル民謡 岡林立哉(ホーミー・馬頭琴)」、「沖縄民謡 ていだエイサー隊(エイサー)」をお招きし、多様文化と触れあい、文化と文化、心が繋がる限りない発展を願う大きな力になる舞台をめざします。

※開催日程等詳細は別紙フライヤーをご覧ください。

～ 実行委員会より募集のお知らせ ～

芸能文化祭にでれちゃう？！

1. 沖縄エイサーワークショップ

ワークショップに参加した方は芸能文化祭で一緒に踊ります！！
皆で楽しく踊って、芸能文化祭を盛り上げよう！！
年齢は問いません！！

【開催日時】平成27年9月21日(月)17:00～21:00(予定)

【場所】八丈町多目的ホール「おじゃれ」

3. 当日スタッフ募集

【日時】平成27年9月23日(水)
AM11:00～PM5:00位まで

【内容】駐車場係り(2名)
会場誘導(4名)
受付(4名)

【お問合せ・申し込み】

芸能文化祭事務局長
浅沼優子

090-4138-6881

dancehachijo@yahoo.co.jp

2. ショメ節

芸能文化祭本番、皆でショメ節を踊りたいと思います。

参加して下さる方を募集します。

練習は9月21日(月)時間未定を予定しています。

加盟団体活動記録(2015年5月下旬～6月)

※協会では把握しているもののみを掲載しています。未掲載の情報がありましたらお知らせ下さい。

八丈島自然っ子クラブ 発足式&ハイキング(大賀郷) 5月30日

劇団かぶつ 全国シニア演劇大会in仙台出演 6月5日(金)(日立システムズホール仙台)

村田乃撫子(個人会員)個展 6月4日(木)～9日(火)(国立・ギャラリー悠)

八丈檜会 25周年記念発表会 6月21日(日)(おじゃれホール)

図書館の会 交流会『あなたとつながる図書館をつくりたい』6月27日(土)(商工会研修室)

あそびと文化のNPOあびの実 冒険ハイク(ホテル水路近辺) 6月28日(日)

團伊玖磨の心をうたう『筑後川』 **JM**八丈島

11月1日、おじゃれホールに全国から200人が集まり大合唱
八丈から4団体が出演

八丈町名誉町民だった作曲家團伊玖磨さん（1924-2001）の合唱組曲『筑後川』を約200人で歌う音楽会「團伊玖磨の心をうたう『筑後川』IN八丈島 2015」が、11月1日（日）午後1時30分から八丈町多目的ホール「おじゃれ」で開かれます。團さんが亡くなった翌年に筑後川源流の熊本県小国町で始まった大合唱が回を重ねて、いよいよ名曲誕生の地、八丈島での開催です。



第一部では、大賀郷中学校音楽部、八丈高校音楽選択者、三原歌おう会、八丈混声合唱団が「八丈島の歌声」を、**第二部**は九州の合唱団を中心とした團伊玖磨記念『筑後川』合唱団、大阪市民混声合唱団、東京・文京区民合唱団、『岬の墓』を歌う会が團さんの作品やそれぞれの地域をテーマにした合唱曲を披露します。

第三部が「混声合唱組曲『筑後川』」全5曲の大合唱。神奈川フィルハーモニー交響楽団名誉指揮者・現田茂夫さんの指揮で200人が心を合わせて歌います。八丈混声合唱団では、この音楽会のために、3月から『筑後川』の練習日を設け、新たに加わった15人とともに練習を重ねています。

島外の参加者は10月30日（金）午後から続々と来島、31日午後・1日午前には現田氏の指揮で合同練習を行い1日午後の本番に臨みます。團さんのアトリエ訪問などの観光も計画され、團さんが愛した八丈島を満喫して、11月2日の2便、3便で離島の予定。

実行委員会では、180人の来島者を迎えて音楽会を開催するための**ボランティアを募集**しています。詳しいことは、実行委員会事務局（文化協会内）か各文化団体の代表にお尋ねください。



日程(予定)

合同練習	10月31日（土）午後3時～5時
リハーサル	11月1日（日）午前10時～11時30分
本番	11月1日（日）午後1時30分～3時30分
フィナーレ	『花の街』会場全員による合唱
解団式	11月1日（日）午後3時40分～4時10分
交流会	11月1日（日）午後6時～8時

連絡先

実行委員会事務局 伊藤 宏
携帯電話 090-8036-1826

BBQ会員交流会のおさそい 8月30日（日）

大潟浦園地 PM3時～6時

参加費：中学生以上 ¥1,000

小学生以下 無料

申込〆切 8月10日（月）

文化協会（TEL・FAX 2-2833）まで

*冷たい麦茶の用意はありますが、
その他の飲み物は各自ご持参下さい

差し入れ大歓迎です



◆暑い夏になると戦後の時代を思い出します。「戦後70年」と新聞やTVの特集やスペシャル番組が目立つようになりました。年齢と共に戦後を歩み、戦中派と言われる我が身は、毎夏のうだる暑さを迎えると子どもの頃の過酷な生活を「思い出」として記憶の扉を開かされます。◆物心ついた戦後は、飛行機音が聞えると米軍が爆弾を落とすに似たと怯え、朝鮮の人を見かけると子ども達で徒党を組んで背後から罵声を浴びせて馬鹿にし、耐え難い空腹に貴重な畑の収穫物を失敬したことも何回かあります。生きるための激動の体験をした育ち盛りでした。◆特筆は何と言つても食糧難でした。どの家も子ども5人位は当たり前で、両親と祖母の10人くらいの大家族は普通でした。朝は日の出から暗くなるまで働く。夕方やつと裸電球が点く下で、賑やかで騒々しい家庭が普通で、小学校高学年にもなると立派な一家の働き手であり、今の私の原点です。◆戦後15年ころ到来する「高度経済成長時代」には義務教育を終えると「金の卵」ともてはやされ、進学と

いう学びの希望も絶たれ、都会へ都会へと大移動させられ住み込みで日本経済成長の屋台骨を築き上げるのが一般的な15歳以降でした。◆戦後の時代、「地域の協働の力」で乗り切らなくてはならなかった生活苦や生活環境改善は、地域共同体意識を醸成しました。高年齢者に多いボランティア意識や共同体意識はこの頃に培われました。「地域の力」をつくった一つの証といえます。◆戦後70年を待っていたように原発再稼動とか機密保護法、集団的自衛権や安保法案、マイナンバー制など、国家というものを考えさせる重要法案が目白押しに提案され、否応なしにじっくり考えざるを得ない必要に迫られている気がします。◆地球を2周した体験と古稀を過ぎた年代になると、平和であればこそ生活も文化もスポーツも教育も享受でき、自らも華を咲かせられます。そして今の時代の良さを次世代の皆さんにそのまま引き継ぎたいの思いも募ります。若い皆さんへの期待と協力協働も協会の大仕事な大事な柱の活動です。

(会長 内山江差夫)

7月～9月のイベント(協会主催・後援、加盟団体主催等)

※協会の主催・後援イベントや、加盟団体の活動を中心に掲載しました。詳細は、協会ホームページおよび「FAXメール通信」をご参照ください。

- 7月** 23日(木)～25日(土)八丈島夏まつり ステージプログラムに加盟団体が出演します。
 檜之扇会、八丈ウインドオーケストラ(23日)
 八丈島Soka栄光バンド、八丈太鼓月曜会、八丈太鼓六人会(24日)
 HeatUP(25日)
 25日(土)自然っ子クラブ 八丈小島であそんじゃおう!
- 8月** 9日(日)團伊玖磨記念第46回八丈島サマーコンサート(八丈町主催)
 13日～15日 盆踊り(各地区)
 21日(金)22日(土)八丈島JAZZフェスティバル2015(協会、おじゃれ運営委員会主催)
 23日(日)NPOあびの実 ナイトフィッシング
 29日(土)CHAMPION SELECTOR spin out to八丈島(個人会員主催)
 29日(土)30日(日)自然っ子クラブキャンプ
 30日(日)会員イベント 交流バーベキュー
- 9月** 5日(土)6日(日) 第69回八丈島民大学講座(協会後援)
 23日(水・祝)第3回八丈島芸能文化祭(協会主催)
 26日(土)会員イベント お月見交流会
 27日(日)小原流八丈支部いけばな講習会

檜立踊り保存会 檜立踊り(東京都無形文化財)&八丈太鼓(服部屋敷)上演
 午前10時～ 服部屋敷(電話 7-0231) 観覧料 大人350円、子ども200円
 夏休み期間中(7月18日～8月31日)保育園児、小学生、保護者 無料ご招待します!
 ※お休みの日もありますので、お電話にてお問い合わせの上、お出かけください。